

福井大学病院で「電波障害による医療機器の不具合や危険を回避するための基礎講座」を開催

北陸総合通信局長 濱島 秀夫(はしま ひでお)は、平成30年6月30日(土)に福井大学医学部附属病院(吉田郡永平寺町)において、医療機関に従事する関係者を対象として、医療現場で電波を安全に利用する上で必要とされる基礎知識の周知を目的としたセミナー、院内施設見学会及びワークショップを開催し、セミナー 50名、施設見学 30名、ワークショップ 20名が参加しました。

開催にあたって、北陸総合通信局 濱島局長から、「携帯電話の第5世代の実用化や、各種IoTの普及に伴い多種多様な場面で電波利用が増加し、周波数の利用が過密化することが予測される。こうした中、北陸総合通信局では医療現場において安心・安全に電波を利用して頂くために、必要な知識の周知に取り組んで来た。本セミナーが福井県の安心・安全な地域医療の構築につながることを期待する。」と挨拶しました。

セミナー

セミナーでは、「電波の安全性に関する総務省の取組」、「医療機関において安心・安全に電波を利用するために」及び「病院内での電波環境対策の概要について」の三つの演題について講演しました。

最初に、北陸総合通信局 無線通信部長の大石 通明(おおいし みちあき)から、電磁波の人体に対する防護に関する総務省の取り組みと、防護指針の概要について説明しました。

続いて、東京大学医学部附属病院 講師 新 秀直(あたらし ひでなお)氏から、「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き※」の内容に基づき、① 電波を利用する医療機器と課題、② 導入時に注意すべきこと、③ ヒヤリハット事例の紹介、④ より良い管理の体制など、医療現場で電波を利用する際に必要な基礎知識について講演しました。

最後に、福井大学医学部附属病院 准教授・医療情報部 副部長 山下 芳範(やました よしのり)氏から、福井大学医学部附属病院で構築している院内の無線通信システムについて、構築の際の工夫と電波混信による障害への対策の工夫について講演しました。



主催者挨拶をする
北陸総合通信局長
濱島 秀夫



施設見学の様子

施設見学会

福井大学医学部附属病院の協力を得て、山下氏の案内で同院内での電波利用システムの見学会を実施しました。

見学会では、院内すべての医師・看護師の可搬端末・スマートフォンとの情報伝達を行う院内にくまなく設置された無線設備概要、電子カルテ等の伝送方法及び各病室のLAN端子や無線管理の工夫等々について紹介がされました。

ワークショップ

ワークショップでは、佐賀大学工学部知能情報システム学科 教授 花田 英輔(はなだ えいすけ)氏から、医用テレメータ及び無線LANにおける課題について、実際の設置事案を例に建材の違いによる電波の伝わり方や、電磁界シミュレーションの活用等について講義を行い、参加者と意見交換を行いました。

最後に電波利用における管理体制の必要性や、構築する際の基本的な考え方について解説しました。

※「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」のダウンロードはこちら
→ 電波環境協議会のホームページ <http://www.emcc-info.net/info/info280404.html>



東京大学医学部附属病院
講師 新 秀直 氏



福井大学医学部附属病院
(医療情報部 副部長)
准教授 山下 芳範 氏



佐賀大学工学部
知能情報システム学科
教授 花田 英輔 氏

お問い合わせ先 無線通信部監視調査課 076-233-4441